



**市の貯金と借金(令和2年度末)**

(貯金) 財政調整基金	30億1,831万7千円	
減債基金	9億8,686万5千円	
特定目的基金	27億6,373万3千円	
合計	67億6,891万5千円	………市民1人当たり 10万7,121円
(借金) 市債(一般会計)	231億512万3千円	………市民1人当たり 36万5,651円
市債(企業会計も含む)	337億6,525万9千円	………市民1人当たり 53万4,353円

※人口は令和3年3月末の人口(63,189人)で算出しています。

市民の皆さんが納めた税金などが、どのように使われ、市の財政が運営されているのか、市の財政状況について令和2年度決算の概要を地方財政状況調査表(決算統計)に基づいてお知らせします。

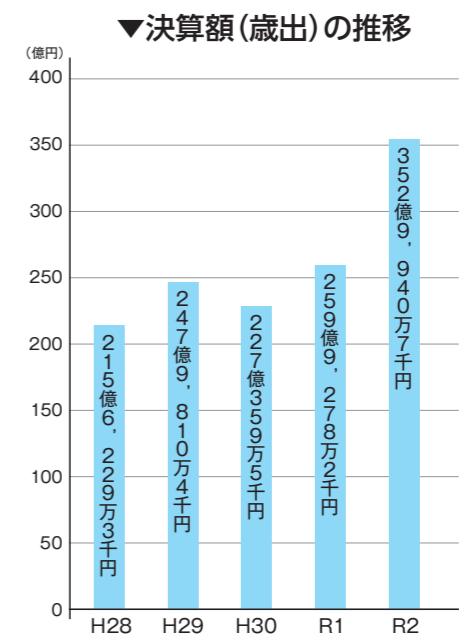
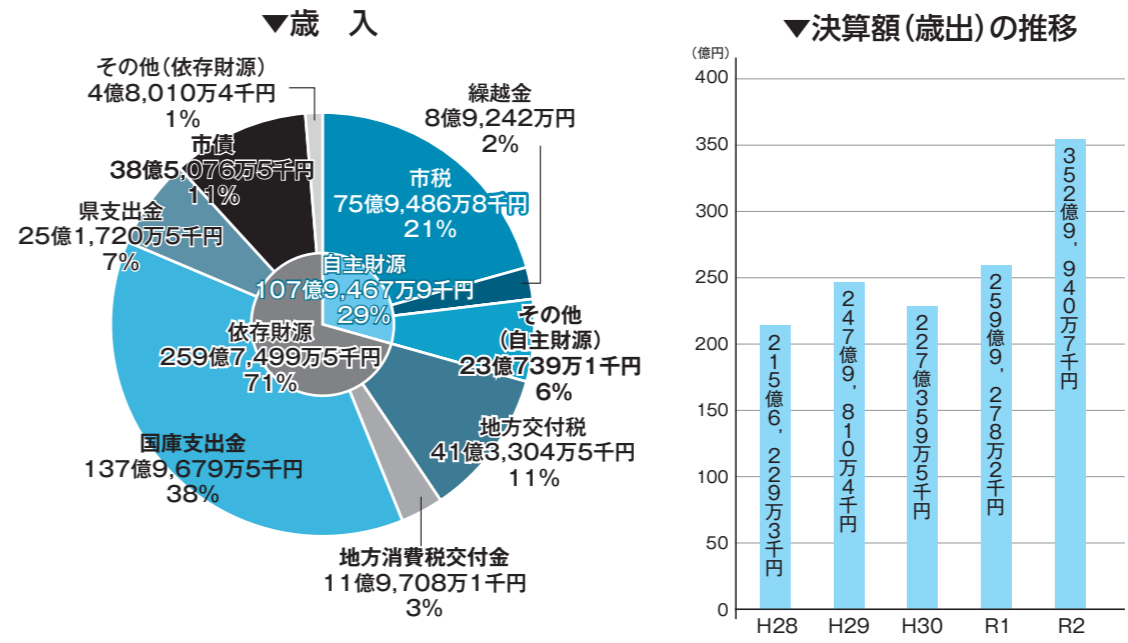
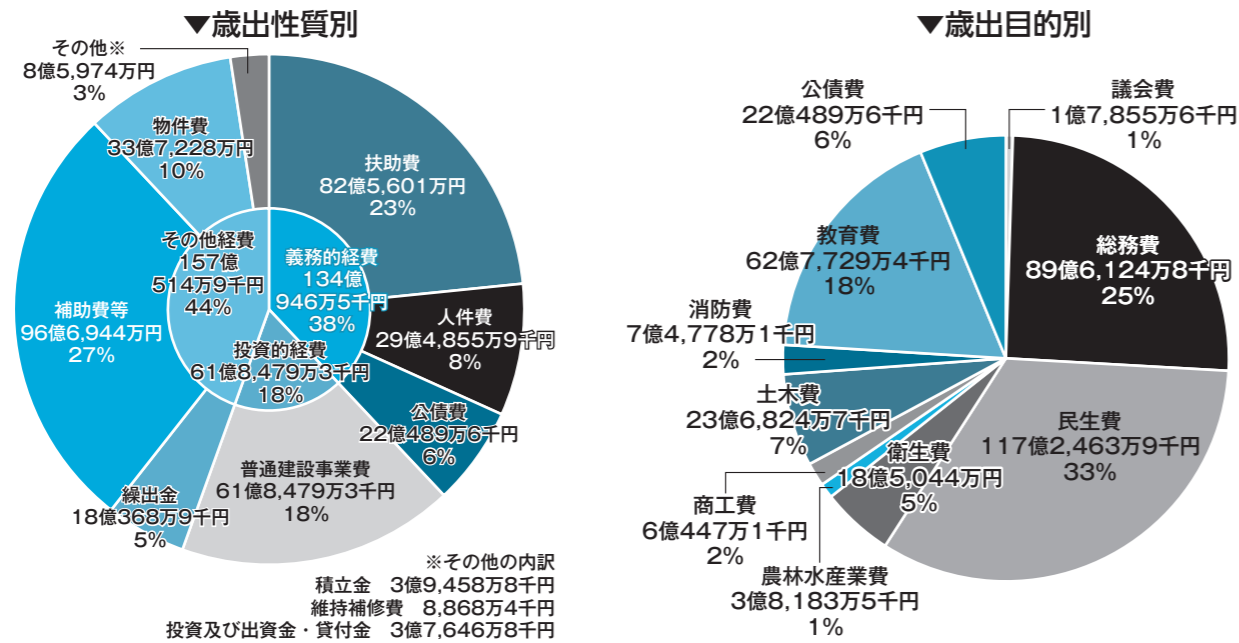
決算統計は総務省の基準により決算を分析したもので、後期高齢者医療広域連合へ派遣している職員の人件費相当分を除いています。

決算額は、御代志地区土地画整理事業や社会資本整備総合交付金事業など令和元年度中に事業が完了せずに繰り越した財源を含めた額となります。

※令和2年度一般会計決算書では歳入367億7千554万円、歳出353億527万3千円となります。

**一般会計の歳出 352億9,940万7千円**

**一般会計の歳入 367億6,967万4千円**



**支出の状況**  
 一般会計の歳出は352億9千940万7千円で、令和元年度に比べて93億662万5千円(35.8%)増えています。これは、新型コロナウイルス感染症対策経費や合志風の森小・中学校建設事業費、御代志地区土地画整理事業費の増が主な要因です。

また、市民一人当たり、約55万9千円が支出されたこととなります。

**一般会計の決算状況・実質収支額**  
 実質収支額は13億5千656万5千円、令和元年度に比べて5億9千517万1千円の増となりました。また、実質収支額13億5千656万5千円は令和3年度予算へ繰り越しました。

**収入の状況**  
 一般会計の歳入は367億6千967万4千円で、令和元年度に比べて98億8千447万2千円(36.8%)増えています。これは、市税、国庫支出金や市債が増加したことが主な要因です。市民の皆さんが納めた市税(市民税や固定資産税、軽自動車税など)は、令和2年度決算で歳入の約21%を占めています。令和元年度と比較して、金額で1億5千218万4千円増えました。



歳入総額 367億6,967万4千円	歳出総額 352億9,940万7千円	差引額(形式収支額) 14億7,026万7千円
差引額(形式収支額) 14億7,026万7千円	翌年度へ繰り越すべき財源※ 1億1,370万2千円	実質収支額 13億5,656万5千円

※令和2年度中に事業が完了せず、令和3年度に繰り越す財源

**▼特別会計の実質収支額**

	歳入決算額	歳出決算額	実質収支額
国民健康保険特別会計	63億9,349万9千円	63億3,068万3千円	6,281万5千円
後期高齢者医療特別会計	6億6,152万5千円	6億4,488万円	1,664万5千円
介護保険特別会計	47億5,426万8千円	46億2,125万7千円	1億3,301万1千円
工業団地整備事業特別会計	1億3,160万4千円	1億3,123万円	37万5千円